



## 災害時及び感染症拡大時の看護支援活動の体制整備に向けて

高知県看護協会は、重点事業の1つに「災害時及び感染拡大時の看護支援活動の体制整備」を掲げて取り組んでいます。

高知県看護協会では、国の仕組みである「災害支援ナース」とは別に、平成21年2月に高知県看護協会、県、34市町村で締結した「災害時の医療救護活動に関する協定書」の実効性を高めるため、地域災害支援ナースを育成しており、登録者は600名余りとなりました。行政保健師は、こうした地域の看護職との協力関係構築も含め、地域の危機管理体制強化に取り組む必要があります。

この度、10月15日(水)に高知縣市町村保健衛生職員協議会保健師部会主催の研修会が行われ、保健師職能委員も参加し、災害時の保健活動について学ぶ機会がありましたので、報告します。

### 高知縣市町村保健衛生職員協議会保健師部会全体研修会（報告）

災害時における保健活動を効果的かつ効率的に推進するため、平時における活動体制の整備や災害時の活動について庁内で意思統一を図り、対応できる体制づくりを目指すことを目的として、『災害時保健活動を効果的に進めていくための平時からの活動体制』と題し、自治医科大学看護学部教授 春山早苗氏にご講演いただきました。保健師だけでなく、衛生事務職員や防災担当職員の参加もあり、ともに学ぶ機会となりました。

災害時の保健活動では、『防ぎえた死と二次健康被害を最小化する』ことを目的に、初動として①「医療救護(救急)体制」を構築すること、また、避難生活における集団としての生活環境上の健康リスクのモニタリングを行う中で、②持病や障害の悪化や新たな健康問題の発生を予防する「保健予防活動」、③生活環境上の健康リスクを軽減するための「生活環境衛生対策」が3つの柱になるとお話いただきました。

平時からの体制づくりとして、発災時(非常時)に優先される最優先業務を自治体として果たすために、指揮命令系統や組織体制を明確化し、各部署の保健師はどこで、どのような業務や役割を担うのか、統括・調整部門と現場部門の編成、それぞれの業務の役割と職員配置の検討を行うこと、発災時に全体像を把握し様々な状況を判断、優先順位の決定などの保健活動の方針を決定する管理職保健師の補佐をつくり、意思決定を助ける体制をつくるのが望ましいと話されました。

フェーズが進み、長期化する二次的健康リスクを最小化するため、サージキャパシティの確保のための備えが必要として、BCPの整備や、受援担当者を選定し、受援対象業務を整理するなど受援体制の整備をすること、平時から支援協力が得られそうな人的資源の検討をつけるなど地域のネットワークや連携の体制づくりが必要と教えていただきました。また、災害時保健活動マニュアルの策定や見直しのプロセスが、業務の効率化、見える化など平時の体制づくりを推進し、また人材育成に活用できると話されました。



最後に、発災時は保健師だけでは対応できないので、庁内全体での連携体制をつくるために活動マニュアルを周知・共有しておくこと、本年改正された災害救助法では福祉サービスへの支援が拡充されていることから、福祉部門も含めた体制づくりを行う必要があると話していただきました。

災害時関係機関との連携の停滞を未然に防ぐ体制の確保はとても重要です。保健師も地域の看護職として、今できる準備を進めたいですね！



# 新任期交流会を実施しました



## ☆多様な現場で働く仲間とのつながり、学び合う時間に

11月8日(土)に看護協会で「新任期保健師交流会」が開催され、市町村や企業で働く保健師15名が参加しました。冒頭、窪田委員長より看護協会の紹介とともに、「同じ看護職であっても、様々な現場で働く保健師がこういった交流の場で顔の見える関係作りをすることが、今後の時代に沿った施策づくりにもつながる。」と、交流の意義についてメッセージが伝えられました。

## ☆グループごとに話題を選び自由に意見交換

参加者はグループに分かれ、自己紹介ののち、①ストレス解消法②休日の過ごし方③私の隠れた特技④どんな保健師になりたいか⑤保健師になってうれしかったこと⑥その他から好きな項目を選び、自由に意見交換を行いました。

報告では、「自分とは違う分野で働く産業保健師の日ごろの活動が知れた。」「市町村保健師として働くことのメリットを再確認できた。」「仕事の中で先輩に褒められてうれしかった。」などの意見が出ました。ほかにも隠れた特技の話や旅行などの息抜きの話など終始和やかな雰囲気での交流が深まりました。

## ☆先輩保健師2名からのエール

続いて先輩保健師2名から新任期に向けたメッセージが届けられました。

### ○榎 萌々子さん(6年目 香美市 現在中央東福祉保健所へ出向中)

保健師として働くことで住民から頼られる機会が増えたことの喜びや現在中央東福祉保健所へ出向中の経験を通して、市町村とは違った視点や視野を持たれたこと等を語りました。一方感情移入しすぎて、しんどくなった場面もあったと振り返り、その際には先輩、同僚、後輩に助けをもらいながらここまでこれた経験を踏まえ、新任期の保健師の皆さんへ①一人で抱え込まないこと②無理は禁物という2点について伝えてくれました。また新任期は先輩がすごすぎて落ち込んだり、つい周囲が忙しそうにしていると思い、遠慮して抱え込みがちな時期であるとし、2つのことを大事にし、しんどいことが続いているなどと思ったときは周りに相談する、少しずつステップアップしていくとよいといったことを話してくれました。そしてストレスが溜まったときは、体を動かす、よさこいを踊りまくる、旅行に行くといった自分なりのリフレッシュできる方法を身につけておく大切さも教えてくれました。



### ○和田 奈保さん(12年目 高知市障がい福祉課)

これまでに4か所の異動を経験し、2児の子育てと仕事の両立も含め話をしてくれました。異動してきた経験の中で、高齢者支援では家族へのアセスメントの視点を学び、健康増進では予防的なアプローチの重要性を感じ、障害福祉では多機関と連携しながら意思決定支援を行うなど、部署ごとに得られる学びがあることを振り返り、異動を重ねる中でいろんな力が身につけて来たことが分かったことを話してくれました。新任期への助言としては、先輩の良いところを積極的に取り入れること、それは保健師職に限らず、さまざまな専門職から学んだらいいこと、そして自分を知ってくれている人を各関係機関で増やすことの大切さが述べられました。



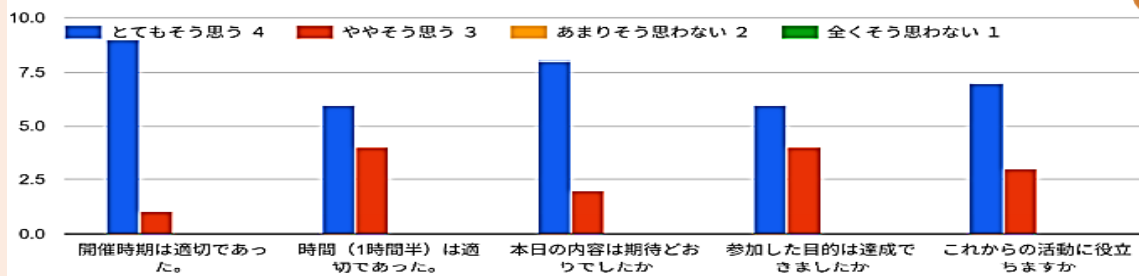
子育てとの両立については、産休・育休を経て働く中で「同じ量をこなすのは難しい時期もあったが、周囲に助けをもらい、子育ての時間を大切にしたい。その時間は今やかけがえのないもの」と話し、新任期の皆さんにも仕事のバランスに悩む時期があっても、自分の気持ちを周りに伝えながら自分のやりたいことを大切にしたい、と温かいエールを送ってくれました。

忙しい中お二人とも新任期の皆さんの不安の解消やこれからの仕事の仕方につながる温かいメッセージを伝えていただき、新任期の皆さんにとって大きな励みになったことと思います。

このような交流会などを通じて、高知県で働く保健師がお互いに声を掛け合いながら、楽しく前向きに皆で支え合って活動していけたらと思います。

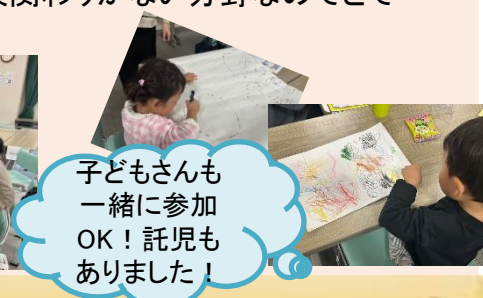


## 交流会の満足度等



### 【感想やご意見をお聞かせください】

- ・参加してよかったです。こういう交流の機会がほとんどないので、リフレッシュという意味でも来てよかったです。
- ・研修で真面目な話をすることはあっても、このようにざっくばらんに話せることは少ないので楽しかったです！
- ・グループワークで産業保健師の話について聞くことができ、普段関わりがない分野なのでとても参考になりました。



## 「ふくしフェア」で『まちの保健室』を開催しました



令和7年10月18日(土)にイオンモール高知にて「ふくしフェア」が開催されました。ふくしフェアは、子どもから大人まで、気軽に福祉及び福祉の仕事に触れることができる福祉体験型イベントで、私たちはイオンホールの一角でまちの保健室「血圧測定体験」を行いました。来場者は親子連れが多く、子どもからその親、祖父母まで計168の方が体験してくれました。

今年は子ども用のマンシットや手動加圧式の血圧計を準備していたため、子ども達自身が加圧し、自身や保護者の血圧を測定する姿も見られました。他にも将来福祉関係の仕事を希望している学生も多数おり、興味を示してくれていました。子ども達の中には放課後児童クラブに血圧計を置いている、祖父母が毎日測定しているなど普段から血圧測定になじみがある方も多く、意識していなくても自然と健康的な生活ができる環境があるのだなと感じました。子育て世代の親は、定期的に測定する習慣はないにしても、年に1回は健康診断を受けている方が多く、「少し高めです」と言いながら測定される方もいました。

まずは自分の健康に意識が向くことがはじまりなので、若い世代の健康意識の種まきとしてはよい機会だと感じました。

## 「突撃！隣の保健師さん」

地域の保健師さんのお仕事を紹介していきます。

### 『地域と保健師教育機関の架け橋になりたい』

高知大学 医学部 看護学科 地域看護学講座 野村美紀



みなさまにとって、大学等の教育機関はどのような存在でしょうか？  
身近な存在でしょうか？それとも遠い存在でしょうか？

現在、高知県内で保健師教育を行っているのは、高知県立大学、高知学園短期大学専攻科、高知大学の3校です。高知県ならびに県内各市町村、関係機関のみなさまには、実習や講義などの教育活動に加え、調査研究へのご協力をお願いすることも多く、大変お世話になっています。

私は令和7年9月1日から、高知大学医学部看護学科地域看護学講座に勤務しています。これまでは、高知女子大学家政学部看護学科(現高知県立大学)を卒業後、倉敷平成病院で看護師として勤務し、平成11年4月から平成18年12月まで吾川郡春野町(現高知市)の保健師として、地区担当、成人保健、高齢者保健、在宅介護支援センター(当時)の業務等に従事しました。その後、看護教員として川崎医療福祉大学、高知学園短期大学で勤めてまいりました。

看護師、保健師、看護教員としての経験の中で、特に心に残っているのは、春野町の保健師として同僚や上司と相談しながら町民のみなさまと関わった日々や、新任期保健師研修でともに学んだ同期の仲間たちのことです。

市町村、教育機関と、働く場所は変わっても、「保健師として地域の健康づくりに貢献したい」という思いは変わりません。現在は看護教員として、次の時代を担う保健師の卵である学生に、保健師の仕事の幅広さ、奥深さ、大切さを伝えることで、保健師マインドと保健活動を継承できるよう努めています。また研究活動として、「ギャンブル等依存症者家族の援助希求行動へのためらいを解決する支援プログラムの開発」に取り組んでいます。

教育、研究を通して、保健活動を支えていきたいです。  
保健師教育機関をお気軽にご活用ください。

<野村美紀 連絡先>

E-mail: nomura-miki@kochi-u.ac.jp

TEL: 088-880-2560(直通)



## 高知県看護協会に入会しよう!!

看護協会は、看護職の皆さまと共に看護の質の向上や看護職が働き続けられる環境づくりなどに取り組んでいます。

### ★会員限定サービス★

- ①高知県看護協会、日本看護協会が主催する研修を会員料金で受講することができます。
- ②高知県看護協会が主催する特定の研修が入会初年度は無料で受講できます。
- ③高知県看護協会広報誌「看護こうち」(年3回)と日本看護協会広報誌「協会ニュース」(年11回)をお届けします。
- ④「看護職賠償責任保険」に加入できます。
- ⑤会員専用WEBページ「キャリアース」が利用できます。会員情報確認、変更、受講歴管理、受講証明書の印刷、最新の文献検索などが利用できます。
- ⑥福利厚生として、罹災見舞金、死亡弔慰金の支給や表彰制度があります。

入会すると  
会員限定サービス  
があります



マスコットキャラクター  
かんごちゃん

### 編集後記

10月中旬まで続いた猛暑、秋を感じたのもつかの間で、寒い冬がやってきました。楽しいクリスマスやお正月も、気になる住民さんのことが頭をちらほら・・・という方も少なくないのでは・・・  
抱え込まずに、ご家族や大切な人と、のんびり、穏やかな時間を過ごしたいですね。

過去のほっととはこちらから⇒ <https://kochi-kangokyokai.or.jp/publics/index/139/>

Merry  
Christmas

